

令和4年10月31日(月)  
武豊町役場 第2・3・4会議室  
10時00分～12時00分

委員の出欠席は、別紙のとおり。

【開会】

## 議題1 グループワーク

【事務局】

グループワークのテーマは2つ。

- ①価値観を共有してみよう
- ②「戻ってきたい」「住みたい」まちとなるために、大事なことは何だろう

### ワーク① 価値観を共有してみよう

第2回のたけとよみらい会議にて、中山委員から価値観を共有した上で考えることが大事ではないかと意見を頂きましたので、まず価値観を共有する時間を設けます。

自分がなぜその町に住んでいるのか、大事にしていることは何か、武豊町にどのような印象をもっているか等について、グループ内で共有をお願いします。

~~~~~グループ内共有~~~~~

【Aグループ】 榊原、三宅、明壁、武内

- ・武豊町に対しいいイメージを持った意見が多かった（住みやすい、子どもを育てやすいなど）。
- ・一方で町内に娯楽が少ない、夜になると駅周辺が暗いなどの印象がある。
- ・また工場地帯というイメージもある。
- ・鉄道の利便性が高い一方で、車がないと町内の移動が不便であると感じる。
- ・町内で仕事をするイメージはあまりない。

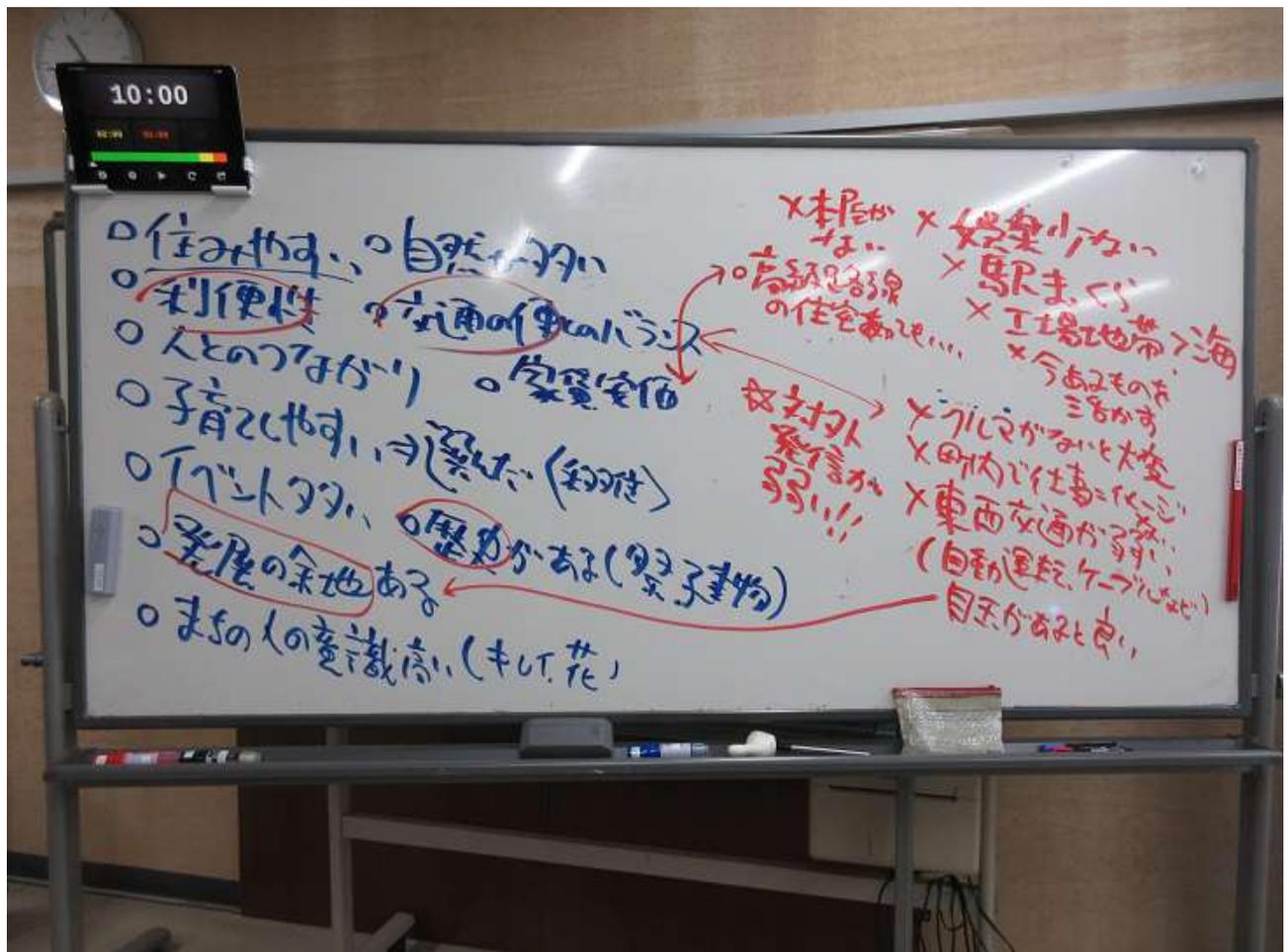
【Bグループ】 福田、横井、藤野

- ・グループメンバーのほとんどが町外からの移住者。
- ・仕事や家族の関係で近隣に引っ越すにあたり、自然と交通面等のバランスが良い武豊町を選んだとの意見もあった。
- ・深い歴史を感じる部分がある。
- ・今後も発展していく可能性を十分に感じる。

- ・町がキレイ。住民の意識の高さを感じる。
- ・名古屋方面へのアクセスは良いが、東西の道路交通網が弱いと感じる。町内移動は車が無いと不便。

【Cグループ】 橋詰、棚橋、中山

- ・武豊町は住みやすいという意見が多かった。
- ・本屋が無い。また町内移動は車が無いと不便だと感じる。
- ・所得格差はあまり感じないが、高級住宅地のような場所があっても良いのではないか。
- ・外向けに武豊町の魅力を発信する部分については、十分ではないと感じる。



## ワーク② 「戻ってきたい」「住みたい」まちとなるために、大事なことは何だろう

### 【事務局】

昨年10月より、住民窓口課にて転入転出アンケートを配布しており、転入・転出理由等について集計しています。転入・転出理由ともに「仕事、学校関係」（特に仕事）が最も多く、次いで「家族の地元」「友人・知人がいる」などのコミュニティに関する事、そして「住宅購入・賃貸条件が良かった」の理由と続きます。

これらから考察すると、仕事を中心として自分のコミュニティを考慮しつつ居住範囲を決め、そこから物件価格を中心とした総合判断により居住する場所を選ぶ思考が大勢ではないかと思われます。従って、まず武豊町に目を向けてもらうためには、仕事およびコミュニティの分野が重要だと考えます。

ここからのワークでは、仕事とコミュニティに関して大事だと思うことを、先ほどの価値観と掛け合わせながら考えて頂きたいです。

また、その中で特に大事だと思う事項を最大3つ挙げ、それらについてどのようなターゲットにどのようにアプローチしていけばよいのか、考えて頂きたいです。

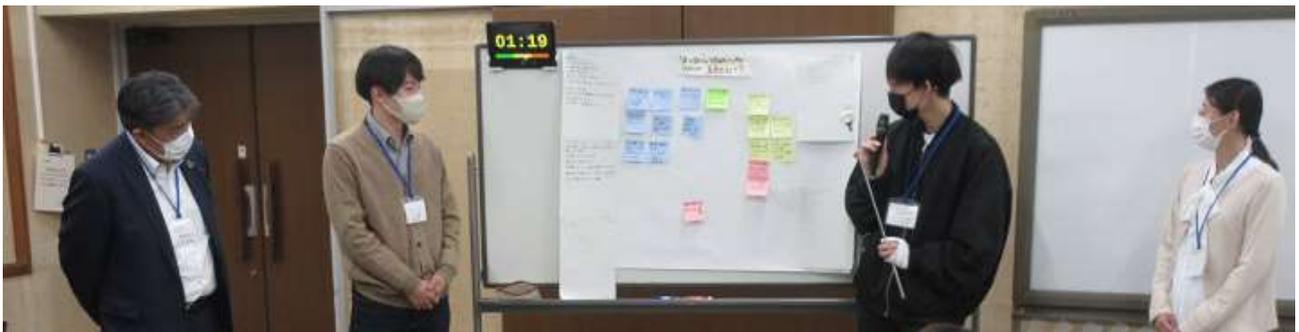
~~~~~グループワークの実施~~~~~

### 【各グループの発表】

上段：戻ってきたい」「住みたい」となるために大事だと考える事項

下段：アプローチ先・手法等

### 【Aグループ】



①子供が急に病気になった時でも預けられる環境

→企業等の福利厚生充実、病児保育等の充実

②定年後の自己実現や、地域住民と良好な関係を築ける環境

→サークル、団体のPR手法の検討（内容及び発信媒体等）。広報する冊子はあるが、年齢層や活動内容等がわからない。

## 【B グループ】



- ①子育て中でも働ける環境、職場  
→病児や障がいのある子を預けられる環境の充実、企業等における制度の見直し  
田舎で子育てをしたい人向けへの PR
- ②仕事や職場を探しやすい状況、認知度等を向上させる  
→大学生への PR、コンシェルジュ等による地元の深い情報とのマッチング
- ③地元に仲間がいること  
→町外へ出て戻ってくる人、若い世代が住み続けられるような PR

## 【C グループ】



- ①企業誘致  
→ネットインフラを整備するなどして、IT 企業の誘致。国家戦略特区の検討。
- ②病児保育  
→他の子育て支援策とあわせ、子育て世代や共働き世代へのアピールポイントになると考える。町外への PR 手法として住宅メーカー等へのアプローチ。

【事務局】

様々なご提案をありがとうございました。頂いたご提案については、今後プロジェクトチームにフィードバックして検討して参りたいと思います。

議題2 今後のスケジュール

【事務局】

資料をご覧ください。頂いたご提案については、総合戦略推進本部会にて報告いたします。併せてプロジェクトチームのほうへフィードバックし、事業に関する別冊への記載を検討して参ります。

前回の会議でご意見を頂いた KPI に関しましては、全員協議会に諮り、修正等がありましたら2月頃に報告いたします。

また、委員の皆さんの任期が来年3月末までとなっておりますので、3月頃に委員の改選を実施致します。

以上です。

【委員長】

皆さん短時間で多くの話をして頂き、いい提案もありました。今回話をして終わりではなく、それをどう実践に結び付けていくか、が大切です。行政だけではなく、皆さん一人一人が起点になってアクションを起こすと、変わっていく可能性は十分あると思います。

皆さんお疲れ様でした。

【事務局】

皆様ありがとうございました。今年度3回にわたり、貴重なご意見等を頂きました。今後頂いたご意見を、まちづくりへ反映できればと考えています。

以上を持ちまして、令和4年度第3回たけとよみらい会議を終了します。  
本日はありがとうございました。

以 上